

IX 家畜衛生

Ⅸ 家 畜 衛 生

1. 概要

本県の家畜衛生は、家畜保健衛生所法により設置されている中央家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所（北部農林水産振興センター家畜保健衛生課）、宮古家畜保健衛生所（宮古農林水産振興センター家畜保健衛生課）、八重山家畜保健衛生所（八重山農林水産振興センター家畜保健衛生課）の4つの家畜保健衛生所と、家畜衛生試験場が連携して、防疫衛生業務等を推進している。

家畜保健衛生所は、家畜衛生技術の指導・普及、家畜疾病の疫学調査・検査、発生予防・まん延防止等を実施している。一方、家畜衛生試験場は、病性鑑定業務や疾病対策のための試験研究、本県独特の疾病の試験研究を実施している。

近年の国内外における家畜衛生をめぐる情勢として、口蹄疫は平成22年4月に宮崎県で10年ぶり2回目となる発生があり甚大な被害をもたらしたが、それ以降国内での発生はない。

しなしながら、中国、韓国及びモンゴル等の周辺諸国において、続発しており、国内への侵入リスクは高い状態である。高病原性鳥インフルエンザについて国内での平成29年度の発生は、1県1例であった。しかしながら、周辺のアジア諸国では発生が継続的に確認されており、国内への侵入リスクは依然として高い状態である。

令和2年1月8日に県では33年ぶりとなる豚熱の発生が確認された。うるま市、沖縄市において発生7農場、疫学関連3農場で殺処分等の防疫措置が行われ、12,381頭の豚が殺処分された。今回の豚熱発生では、発生日から令和2年4月13日の期間、移動制限等の制限区域が設定された。野生イノシシでは本病のウイルスは確認されておらず、養豚場での発生は地域的に限局的であった。豚熱の防疫対策の強化として豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守強化に取り組んでいるところである。

国内での豚熱(CSF)の発生及びアジア地域でのアフリカ豚熱(ASF)の感染拡大等を踏まえ、令和2年に家畜伝染病予防法、各特定疾病指針の改正、飼養衛生管理基準指導指針の新設、全家畜の飼養衛生管理基準が改正された。

県内での豚熱発生や家畜伝染病予防法等の改正を踏まえ、対策本部・各地域現地対策本部の設置に関する規定、特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱を見直し、危機管理体制の整備を図るとともに、関係機関、団体が参加する実働型の防疫演習や講習会等を実施して、体制の確認・強化を図る。

今後とも、これらの疾病のみならず、本県における新興・再興感染症の発生及び慢性疾病や複合感染症に対し、発生予防・まん延防止対策や食の安全・安心確保のため、家畜伝染病予防事業、家畜衛生対策事業等を活用し、関係機関と連携して取り組んでいく。

2. 家畜防疫状況（令和元年）

（1）検査実施状況

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果		実施時期	摘 要
		実頭数	延頭数	患畜	疑似患畜		
B S E	牛	462	462			1月～12月	ELISA法
結核病	牛	723	723			1月～12月	ツベルクリン皮内反応
ブルセラ病	牛	683	683			1月～12月	急速凝集反応
牛流行熱等追跡調査 （抗体）	牛	246	368	(1)*		1月～12月	中和試験
牛白血病	牛	2,113	2,113	(1,057)*		1月～12月	抗体検査
ヨーネ病	牛	410	410	(2)*		1月～12月	ELISA法
豚熱	豚	854	864			1月～12月	中和試験、ELISA法
オースキー病	豚	768	818			1月～12月	ラテックス凝集反応、中和試験
ニューカッスル病	鶏	409	409	(390)*		1月～12月	HI検査
家きんサルモネラ感 染症	鶏	600	600			1月～12月	種鶏 急速凝集反応
高病原性鳥インフル エンザ	鶏	1,720	1,720			1月～12月	血清抗体検査、ウイルス分離
腐蝕病	蜜蜂	1,790	1,790			1月～12月	細菌検査

*は抗体検査成績（患畜：陽性，疑似患畜：疑陽性）

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果			実施時期	摘要
		実頭数	延頭数	疾病名	患畜	疑似患畜		
牛伝染性疾病検査	牛	106,440	460,380	B	31	3	1月～12月	
				S				
				E				
				疫				
豚伝染性疾病検査	豚	56,192	342,206	口蹄疫	11	342,195	1月～12月	
				下痢症				
				大腸菌症				
				異常産				
鶏伝染性疾病検査	鶏	302,269	3,552,614	肺炎	3,552,614	1月～12月		
				滲出性表皮炎				
				高病原性鳥インフルエンザ				
				マレック病				
臨床検査				I				
				B				
				D				

(2) 注射実施事業

事業名	区分	種類	注射回数				計	注射の反応				実施期間	摘要
			第1回	第2回	第3回	死亡		流死産	重症	軽症			
牛流行熱・イバラキ病 混合不活化ワクチン	予	牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1月～12月	
牛異常産3種混合不活 化ワクチン	予	牛	901	603	0	1,504	0	0	0	0	0	〃	
アカバネ病	予	牛	2,060	622	0	2,682	0	0	0	0	0	〃	
ニューカッスル病	予	鶏	715	0	0	715	0	0	0	0	0	〃	不活化

(3) 薬浴(投薬)実施状況

事業名	区分	家畜の種類	実施回数			薬浴(投薬)の反応			実施期間	摘要
			実回数	延回数	死亡	流死産	重症	軽症		
ダニ駆除	投	牛	946	946	0	0	0	0	〃	バイチコール

3. 家畜伝染病発生状況

年	病名	アナプラズマ病	ピロプラズマ病	豚コレラ	ヨウネ病	結核	流行性脳炎 (豚)	ニューカッスル病	ひな白痢
	H17				10				
	H18				7				
	H19	1			7				
	H20	1			2			300	
	H21				14				
	H22				2				
	H23				6				
	H24				2		15		
	H25				1				
	H26						2		
	H27				1				
	H28								
	H29								
	H30				2				
	H31 (R1)				2				

4. 牧野ダニ侵入防止対策事業

(1) オウシマダニ侵入防止推進会議

(令和元年度)

開催回数	参集範囲	参加延べ人数	備考
技術検討会 1回	国, 県, 家保, 有識者等	23人	

(2) ダニ監視体制強化の整備

(令和元年度)

区分	対象地域	回数 または 頭数
草地ダニ検査	八重山地域	36回
	宮古地域	21回
牛体ダニ検査	八重山地域	2,950頭
	宮古地域	100頭
血液原虫検査	八重山地域 (県外導入牛含)	549頭
	県外導入牛 (八重山地域外)	197頭

5. オウシマダニ撲滅達成状況

令和2年3月現在

地 域 名	撲 滅 達 成 年 度
伊 是 名 島	昭和56年度
伊 平 屋 島	60
多 良 間 島	61
北 大 東 島	61
伊 良 部 島	61
黒 島	平成2年度
竹 富 島	3
鳩 間 島	3
小 浜 島	4
波 照 間 島	4
与 那 国 島	5
西 表 島	6
石 垣 島	8
内 離 島	8
外 離 島	8

(撲滅達成)：ダニ駆除又は牛処分終了後、最低1年以上オウシマダニが全く確認出来ない状態を撲滅達成とした。

6. 家畜伝染病に係る沖縄県対策本部設置要綱、要領等

伝染病名	要綱、要領等	策定年月日 (最終改正日)
特定家畜伝染病	沖縄県特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱	平成24年5月16日 (令和2年1月7日)
高病原性鳥インフルエンザ(法)	高病原性鳥インフルエンザ侵入防止対策行動態勢(フェーズ区分)	平成23年1月31日
	沖縄県高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル	平成29年9月9日
口蹄疫(法)	口蹄疫侵入防止対策行動態勢(フェーズ区分)/県口蹄疫防疫体制	平成22年5月25日 (平成26年6月)
	沖縄県口蹄疫防疫方針	平成22年6月16日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫侵入防止対策ガイドライン	平成22年7月1日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫初動防疫マニュアル	平成22年6月17日 (平成31年3月19日) H31.3名称変更
	家畜市場口蹄疫侵入防止対策方針	平成22年6月1日)
	沖縄県口蹄疫緊急対策会議設置要綱	平成22年5月14日 (平成26年6月30日)
牛海綿状脳症(BSE)(法)	沖縄県牛海綿状脳症(BSE)対策本部設置要綱	平成13年10月17日 (平成26年6月30日)
ヨーネ病(法)	沖縄県牛ヨーネ病防疫対策実施要領	平成14年10月4日 (平成28年4月1日)
豚熱(法)	豚コレラ・アフリカ豚コレラ侵入防止対策に対する具体的な行動表	令和1年9月13日
	沖縄県豚コレラ防疫対策要領	平成13年2月13日
オーエスキー病(届)	沖縄県オーエスキー病防疫対策実施要領	平成3年8月30日 (平成30年3月28日)
	県外導入豚着地検査実施要領	平成12年11月1日 (平成30年3月28日)
	沖縄県オーエスキー病防疫協議会会則	平成3年9月24日 (平成30年12月3日)
	沖縄県オーエスキー病防疫協議会細則	平成4年6月12日 (平成30年12月3日)
出先機関	北部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成22年5月27日 (平成27年2月20日)
	中南部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成26年12月27日 (平成30年7月10日)
	宮古地域特定家畜伝染病対策本部設置要綱	平成22年6月1日 (平成30年6月4日)
	八重山地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成19年3月12日 (H28年4月25日)

注意:(法)家畜伝染病、(届)届出伝染病

7. 令和元年度沖縄県特定家畜伝染病防疫実働演習について

口蹄疫や鳥インフルエンザの侵入防止対策の強化と実効性ある迅速な初動防疫態勢および発生時のウイルス拡散防止対策技術を訓練する目的で、関係各課および関係団体のご理解、ご協力の下、4つの地区で関係機関団体参加型の実働演習を開催致しました。

【北部家畜保健衛生所】

■ 令和元年度北部地域特定家畜伝染病防疫実働演習（令和元年8月8日）

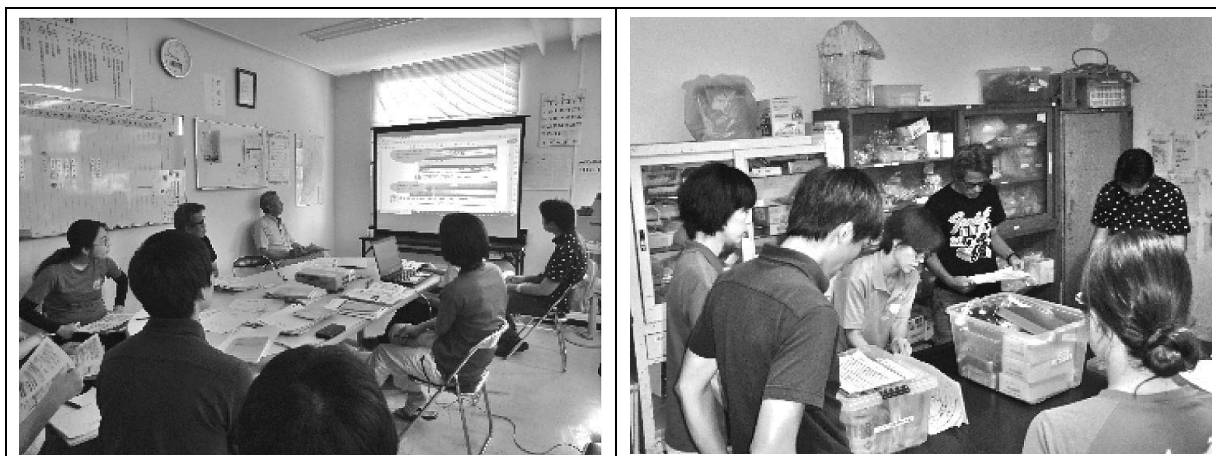
- ◇ 参加者：畜産課、家畜保健衛生所職員 20名
- ◇ テーマ：電殺器の使用方法和安全な取扱および薬殺における心臓穿刺技術の習得



【中央家畜保健衛生所】

■ 令和元年度中南部地域高病原性鳥インフルエンザ防疫実働演習（令和元年8月1日）

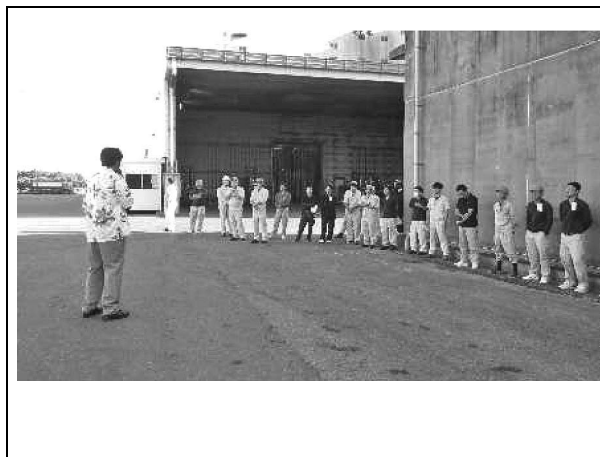
- ◇ 参加者：家保職員 12名
- ◇ テーマ：鳥インフルエンザの発生に備えた所内机上演習



■ 令和元年度中南部地域消毒実働演習（令和元年11月6日）

◇ 参加者：飼料運搬業者 35名

◇ テーマ：家畜飼料運搬車両の消毒における講習会と実演



■ 令和元年度中南部地域特定家畜伝染病防疫演習（令和元年12月11日）

◇ 参加者：現地対策本部員 28名

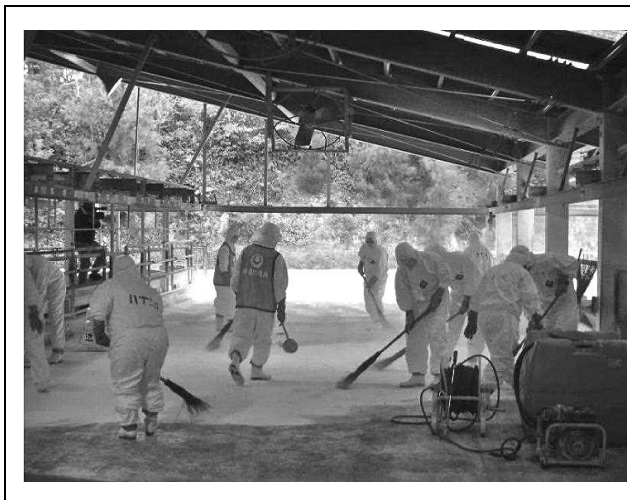
◇ テーマ：口蹄疫発生時の現地対策本部設置にかかるロールプレイング演習



【宮古家畜保健衛生所】

■ 令和元年度宮古地域特定家畜伝染病防疫演習（令和元年11月14日）

- ◇ 参加者：国、県。市村、畜産関係団体、自衛隊等 61名
- ◇ テーマ：口蹄疫発生時の初動防疫に係る初動防疫措置概要及び防護服着脱・農場清掃・消毒訓練



【八重山家畜保健衛生所】

■ 令和元年度八重山地域特定家畜伝染病防疫演習（令和元年11月28日）

- ◇ 参加者：国、県。市村、畜産関係団体、防疫協定団体等 65名
- ◇ テーマ：牛の口蹄疫発生時の埋却に関する防疫作業

